

『ブロードリスニング』のトライアル結果について

香川県 宇多津町
(協力：株式会社ブーツ)

本資料のアジェンダ

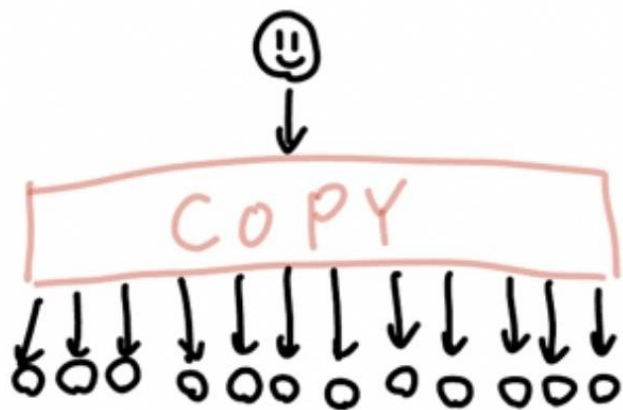
- ブロードリスニングとは？
- 今回実施したトライアルの概要
- トライアルの成果
 - （出カイメージ） 広聴AIの出力の全体像
 - （出カイメージ） 町民の意見の全体図
 - 評価と示唆
- トライアルを受けた今後の方針
- 町長より | ブロードリスニングのトライアルを受けて

ブロードリスニングとは？

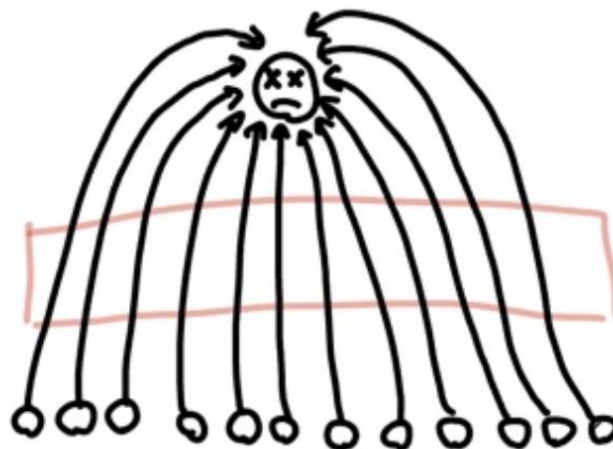
ブロードリスニングとは、大量で多様な住民の声を収集・分析して、政策立案に反映させる手法です。

いままでは手作業で多くの住民の声をとりまとめる作業に多くの時間を要していましたが、近年注目を集めるAI技術を使うことで、より効率的に整理して理解することができるようになりました。

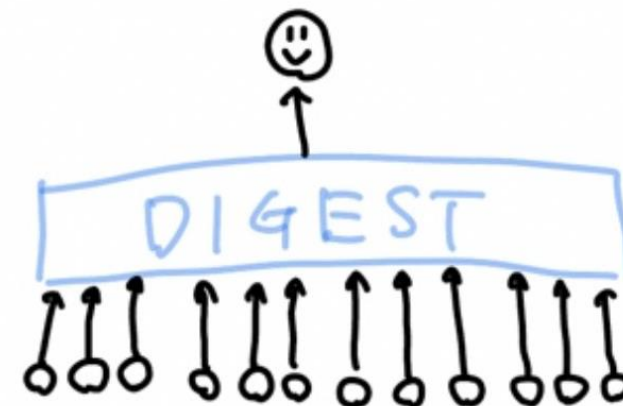
ブロードキャスト
一人の声を多数へ発信



既存の意見募集
受け取り側がパンク



ブロードリスニング
多くの声を上手に収集



テクノロジーを使って、「発信」だけでなく「受信」をアップデート

今回実施したトライアルの概要

トライアルの概要と対象としたデータ

- ブロードリスニング技術を用いることで町民アンケートの分析の向上につながるかを検証しました。
- 今回のトライアルでは、令和6年3月の「第2次宇多津町総合計画」の策定の際に実施した町民アンケートの自由記述欄『あなたが、将来に向けて宇多津町の行政に望むことやまちづくりに関するご意見、ご提案などがあれば、自由にご記入ください』の回答（396件）を対象データとして利用しました。

今回利用したブロードリスニングシステム

- 安野貴博氏が立ち上げた『デジタル民主主義2030』プロジェクトで開発されている『広聴AI』というブロードリスニングシステムを用いてトライアルを実施しました。

今回のトライアルの協力企業

- 今回のトライアルは株式会社ブーツのご協力で実施しました。ブーツ社はブロードリスニングを含めてAIの活用に深い知見を持つDXコンサルティング会社です。

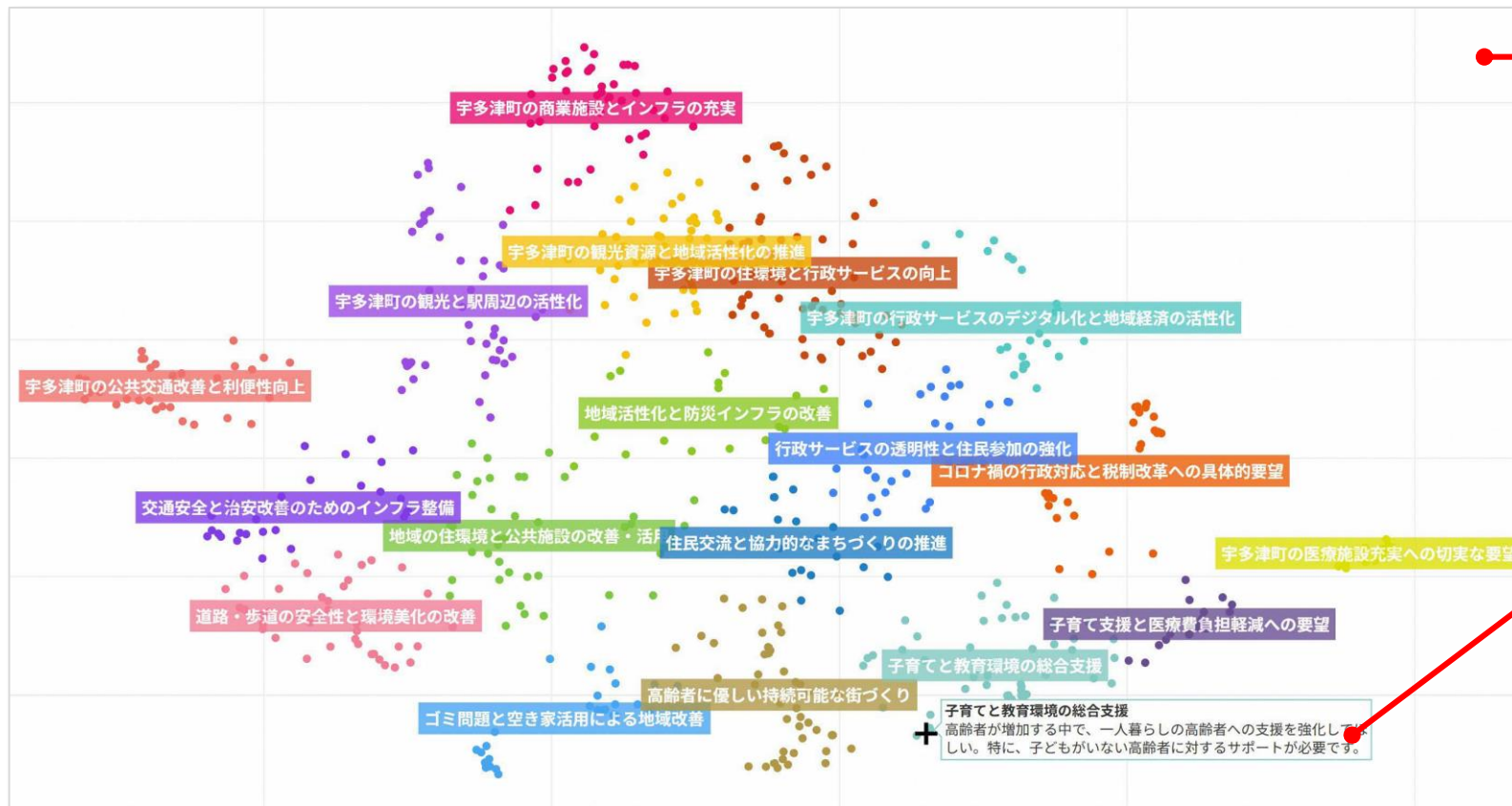


- ## 意見の全体像の図示

- ## 内容グループごとの要約

- グループごとに内容の要約をAIが自動で作成。

トライアルの成果 | 町民の意見の全体図



全体像のプロット図

- 今回は396件のコメントから616件の意見を抽出、内容に応じた18グループに整理。
- それぞれのグループの内容に応じたラベル名が自動で付与されます。

個別の意見の表示

- 一つひとつの“点”が一つの意見。個別の意見を丁寧に確認しながら議論をすることができます。

全体として、広聴AIの出力に関しては高く評価しています。今後町政での有効活用につなげたいと考えています。

- 広聴AIに対する評価について

- アンケート結果を可視化することで全体として問題点や課題を把握しやすくなる。更に、マウスのカーソルを合わせるだけで個々の意見内容を見れるのも非常に分かりやすく、使いやすいです。
- 各意見グループに付与されるラベル名についても、こちらが指定したいラベルと大きな相違もなく、10分程度の処理でここまで分析できるとなると便利の一言です。
- 分析をする際の設定（プロンプトやグルーピングの数など）については更に理解を深めたいと思います。

- 広聴AIを活用することで町政で期待できるメリット

- 計画策定時に選択式のアンケート結果からは把握できない住民ニーズを拾い上げることで、自由記述の様々なコメントの内容をよりよく計画に反映できると期待できます。
- 広聴AIの活用に向けて、アンケートをLINE等のオンラインで実施したり、手書きのアンケートであってもAI OCRでデータ化するなども検討したい。そうした取り組みにより、職員の負担軽減も期待できます。

トライアルを受けた今後の方針

今回のトライアルの成果を受けて、下記の様な取り組みを進める予定です。

- 広聴AIの活用拡大

- 今後、様々な住民アンケートで広聴AIを利用してまいります。
- 広聴AIを活用する前提で自由記述のコメントも積極的に収集するなど、住民との対話に活用します。
- その他にも問合せの履歴を分析するなど、行政活動の改善に使用します。

- 庁内での利用環境の整備と利用方法の習熟

- 既に、庁内のシステム環境で広聴AIを利用できることを確認済みです。
- 今後さらに利用方法の理解を深め、業務での活用を進めてまいります。

- 広聴AIの改善への貢献

- 今回のトライアルを受けて利用者目線での広聴AIの改善フィードバックをあげさせていただきました。
- 今後の広聴AIの改善には引き続き貢献してまいります。

町長より | ブロードリスニングのトライアルを受けて

今回の広聴AIのトライアル結果は想像以上に素晴らしく、まさにデジタル化時代の到来を実感いたしました。

町民の声を整理するスピードや品質は期待以上であり、AIによる分類は、感情や先入観に左右されことなく、データに基づいて客観的に行われることも魅力です。さらに、費用が安価で、ペーパーレスである点も非常に実用的です。

『デジタル民主主義2030』やブロードリスニングの取り組みに対する期待は大きく、行政のDX（デジタルトランスフォーメーション）を進める上で大変有用な手段であると感じております。

宇多津町の未来の発展のためにも、こうした先進的な手法の活用に積極的に取り組んでまいります。



谷川俊博 町長